

こんにちは

日本共産党議員団です

〈令和6年9月定例会特集

【発行】日本共産党議員団

連絡先 ☎FAX75-4558(小西)

小西、伊田、小杉議員

令和6年度9月定例会が10月9日、10日に第3回臨時会が閉会しました。令和5年度一般会計をはじめ特別会計決算など全23議案を審議しました。

党議員団の議会報告をお届けします。



党議員団が反対した5議案

- 令和5年度舞鶴市一般会計の決算の認定について
- 同 国民健康保険事業会計の決算の認定について
- 同 介護保険事業会計の決算の認定について
- 同 後期高齢者医療事業会計の決算の認定について
- 決議第3号 仲井玲子議員に対する問責決議(案)

18議案に賛成し、5議案に反対しました

反対した4議案への態度について

■「令和5年度一般会計」の決算については、

①コロナ禍が明け、物価高騰などで厳しい市民生活の中で、10年で30億円(用地買収費含まず)も支出する大型観光開発事業は一旦中止し、市民生活を底上げする事業に切り換えるべき。②建設計画も何もない山陰新幹線誘致推進針事業は見直し、在来線の充実やバス路線の確保などの事業を優先すべき。③除外申請も行われず自衛隊員募集の業務が実施されていること。④「テスト学力」中心の学校づくりに変質する、中学校の「夢チャレンジサポート事業」が実施されていることなどの理由から認定できない。

■「同 国保事業会計」の決算については、

高すぎる国保料が市民を苦しめており、8割の国民が紙の保険証の継続を望んでいるが、その声を国に伝えることなくマイナ保険証を進める姿勢であり認定できない。



■「同 介護保険事業会計」の決算については、

国が介護保険事業を相次いで見直したことにより、介護事業そのものの継続が困難になっている。特別養護老人ホームの待機者が94名という現状からも「保険あつて介護なし」状態の事業になる危険があることから認定できない。

■「同 後期高齢者医療事業会計」の決算については、

今年も保険料が引き上げられて、制度がつくられてから保険料が上がり続けている。医療を受ける度合いが多い高齢者はかりを一つの保険に集める制度設計に問題がある。国に制度の見直し、公的支援を求めることを要請すべきで認定できない。

※賛成した議案についての意見

「水道事業会計」では、令和6年度に計画していた水道料金の値上げが経営努力で実施されなかったとして、今後も引き続き安全で低廉な水道水の提供、将来市民負担が増えないよう更なる事業運営の努力を求めました。「病院事業会計」では、救急医療やへき地医療など地域に不足する不採算医療を提供するという自治体病院の役割を果たす上で地方交付税の交付の対象にもなっていることから、今後も市民の命と健康を守るために、引き続き経営努力を求めました。

●第80号議案(追討議案)「小学校教師用指導書」については意見付き賛成

「これまで分割発注していたものを、業務改善で一括発注したことで条例第3条(3千万円を超える契約は議会にかけろ)に抵触していましたが、だれも気付かなかった」との答弁でした。ヒューマンエラーはどこでもありうることであり、問題があった時に情報を公開しオープンにすることが必要。再発防止策の徹底と、議決が必要な金額を現行3千万円から2千万円に引き下げることを求めて賛成しました。

【決議第3号】仲井玲子議員に対する

問責決議(案)には反対しました！

「議員の言動については、その議員が責任を持つべき」ものであり、今回、問題になっていることは、仲井玲子議員のSNS上の発信内容とそれをめぐる言動であり、本会議や常任委員会など、議会の中での発言・言動ではない。本会議で時間をとって「問責決議」として議案にすることは適切でないと判断し賛成できないことから、決議第3号「仲井玲子議員に対する問責決議」(案)に反対しました。

◎補正予算案(第3号)の主な事業

- ◆ 原発災害時避難路整備事業費 7427万円
- ◆ 旧勤労者福祉会館施設整備費 1080万円
空調設備更新工事
- ◆ 医療機関等へのシステム改修に係る補助金 900万円
- ◆ 3病院に百万円、20薬局に30万円ずつ
- ◆ 福来市民センター改修工事 3400万円
- ◆ 山から地域を元気にする事業費補助金 642万円
上限五十万円、20団体追加補正
- ◆ 河川整備事業費 2500万円
寿川、オグラ川、稲荷川、千歳川、引土水路浚渫他
- ◆ 民間建築物耐震改修等推進事業費 186万円
木造住宅耐震診断士派遣 五万二千円×30件他



「引き揚げのまち」「平和産業港湾都市」「核兵器廃絶・平和都市」
モニュメント設置で平和と人権を発信する舞鶴市に！
小西 洋一 議員・代表質問



【小西】1945年8月24日、海軍輸送艦「浮島丸」が下佐波賀沖の舞鶴湾で突然、爆発・沈没した。政府の発表で青森県内で強制連行により働かされていた朝鮮の人々524名、日本人乗組員25名が死亡したとなっている。1978年、舞鶴市民は、犠牲者の死を悼み、この悲しい歴史を後世に残そうと、地元下佐波賀の方々の協力と市民からの募金、府と市の支援も受けて、追悼の碑を建立し、毎年、追悼集会を続けている。この事件と市民の取り組みについて市長の見解を聞く。

【答弁】再び故郷の土を踏まれることなく、不慮の死を遂げられた方々の無念と、「家族の心情を察すると、哀惜の念に堪えない。昭和53年に殉難の碑が建立され、今日まで「浮島丸殉難者を追悼する会」が主催者となり、多くの皆様の「尽力」によって、毎年追悼集会が行われてきたことは、誠に異議深いものと認識している。

【小西】本市は「引き揚げのまち」であると同時に、住民投票で決定した「平和産業港湾都市」であり、舞鶴市議会でも全員一致で決議した「核兵器廃絶・平和都市」宣言のまちである。市役所前に、二つのモニュメントを設置して、平和と人権を希求する本市の姿を国内外に発信していく必要があると考えるが、市長の見解を聞く。

【答弁】現時点では庁舎前に新たなモニュメント設置の考えはないが、市としてはモニュメント設置の有無ではなくて今後とも、舞鶴引き揚げ記念館を拠点として、平和の尊さを国内外に強く発信していく。

熱中症から市民の命と健康を守る取組を

【小西】近年、エアコンは熱中症対策に不可欠の必需品。本市においても奈良県生駒市のように生活保護の需給家庭でエアコンが未設置であったり、使用できるものが無かったりする世帯を対象に、エアコンの購入費と設置工事費を給付する事業を制度化すべきと考える。同時に厚生労働省に対し生活保護制度内におけるエアコン支給基準を緩和するよう要望すべきと考えるが、見解を聞く。

【答弁】生活保護制度は国の法定受託事務として全国一律で運用されるべきものと認識しており、現在のところ市独自の制度創設の考えはない。国に「夏季加算」と合わせ支給要件の緩和を要望していく。

現行の東図書館と同規模の分館を

【小西】中央図書館事業について、現在の東図書館を除却したとしても、それに代わる東図書館は「これまでと同規模のものを、司書も配置して設置」の要請が強い。分館のあり方イメージについて、その全容はいつごろ市民に明らかになるのか、市長の見解を聞く。

【答弁】現在の東図書館は令和十一年度年度末には除却する予定。現在、東地区を含む分館の詳細なイメージを利用可能なスペース等を検証検討しているところ。今年度中には詳細を決定していきたいと考えている。

小学校給食の無償化 早期に実現すべき

より豊かな給食へ見直しを！

伊田 悦子 議員・一般質問



【伊田】中学校の給食はスクールランチ方式にて提供されている。給食が冷たい、食べる時間が短い等の声を聞いている。会派としては一貫して自校給食を求めている。現行の中学校のスクールランチ方式、喫食時間の見直しが必要と考えるが、いかがか。

【答弁】子どもたちからそのような意見は聞いている。現行の給食の提供の仕方は継続していく考えだ。喫食時間については、今後、校長会とも相談の上検討していく。



【伊田】学校給食の無償化は憲法26条の「義務教育はこれを無償とする」という理念に基づき実施されるものでなくてはならない。本年九月から中学校給食の無償化は実施された。次は小学校の無償化。保護者の要望に答えて一日も早い実施を求めるが、いかがか。

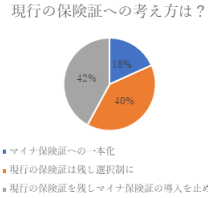
【答弁】小学校給食の無償化は、いことから、可能な限り早期に実現できるように取り組んでいく。



「現行の健康保険証を残す」よう国に強く要望すべき！
障害者が医療的ケアを受けながら生活できる場の確保と拡充を
小杉 悦子議員・一般質問

【小杉】十二月二日から新規の健康保険証を発行しない閣議決定を受け、全国18の地方紙がマイナンバーカードに保険証の機能を持たせた「マイナ保険証に関するアンケート調査を行った。『現行の保険証を残し、選択制に』と『現行保険証を残し、マイナ保険証はやめて』と反対する人の二つを合わせると、8割以上が現行の（紙の）保険証の存続を望んでいる。マイナ保険証を持つている人も、持っていない人も、情報漏洩が心配というのが上位を占める。市この調査結果の受け止めは、現行の保険証を廃止しないよう国に強く求めるべきと考えるがどうか。

こんにちは日本共産党議員団です 2024年9月号



【答弁】マイナ保険証への移行は重要と考えていることから、国に（紙の）保険証廃止の中止に係る要望は考えていない。マイナ保険証にしない方とか、それが嫌な方は、資格確認書があるので、それを選択することも可能である。今後、様々な機会に市民へ周知することを考えている。

床下浸水被害にも見舞金を

【伊田】この間の気候変動は日常生活に甚大な影響を与えている。近年の高潮被害を考慮しても、早期に東地区の浸水被害の対策をする必要がある。東地区の浜地域に「高潮対策ポンプ」が設置される。どの程度の被害が軽減されるのか。合わせて、床下浸水についても見舞金を支給すべき。

【答弁】より効果的な施設整備を実施し浸水被害の軽減に努める。七条通線は、海水の逆流が完全にせき止められて、ほぼ道路冠水被害は解消できると考えている。見舞金は、日常生活への影響の大きさを基準としており、床下被害への支給は考えていない。

学校トイレの早期改修と体育館エアコン設置を計画的に

【伊田】学校トイレの改修・水洗化、体育館へのエアコン設置など教育環境整備は喫緊の課題。トイレ改修は大規模改修に含わせてではなく、個別計画も立てる必要があるが、その準備は。体育館へのエアコン設置についても計画的に進める必要がある。今年度の当初予算に青葉、白糸、和田、城南中学校の4体育館に「調査設計費」が予算化された。予定通り進むのか。

【答弁】校舎改修のタイミングとトイレの状態を考慮し、個別改修も検討しながら進める。体育館の空調設備は学校生活の充実に必要な整備であり、財源の確保に努め、五年間で整備が完了するよう進める。小学校の体育館についても必要と認識しているが、優先度の高い中学校体育館の設置を進めていく。